

## 地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）8月31日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名） 杣 晴薫

## 1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 I 安全で快適なまちづくり
	【具体的な取り組み】 4 生活の利便性の追求と環境改善 (3) 公共施設を新設、及び整備する ① 小林浄水場跡地を有効活用する ② 亀井浄水場跡地を有効活用する
取組内容の関係課	上下水道局 経営管理部 総務課 上下水道局 施設部 浄水課・工務課

## 2 対話の状況

<p>(1) 実施概要</p> <p>ア 日時： 令和5年（2023年）8月29日 13：00～14：30</p> <p>イ 場所： 上下水道局第一会議室</p> <p>ウ 出席者： 以下のとおり</p> <p style="padding-left: 2em;">＜まちづくり協議会＞</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p style="padding-left: 2em;">＜関係課＞ 上下水道局 中条施設部長、和泉浄水課長、久代工務課長、原総務課長</p> <p style="padding-left: 2em;">＜協働の取組推進担当次長＞ 戸井室長</p>
<p>(2) 確認できたこと</p> <p>ア 土地の売却について 複数の民間事業者からも意見を聴取したが、地下構造物が残った状態での売却は例が少なく困難。構造物の完全撤去には、多額の費用がかかるという試算が出ており、事業者に撤去費用を負担させる形で売却するのは現実的でない。</p> <p>イ 既存建物の利活用について 様々な利活用事例のアイデアが出されたが、老朽化が激しく住宅地が近接しており、生活環境への配慮や交通量の増加が懸念されるため、そのままでの使用は難しい状況。現状のままの活用には限界がある。</p> <p>ウ 利活用の検討状況 令和4年度に、亀井浄水場の跡地利用について民間事業者にも意見を求め、高齢者福祉施設や商業系、住宅系の土地利用や駐車場等様々な観点から検討を行った。現状では、上下水道局が地上構造物を撤去し、賃貸での利活用により、構造物の撤去費用を、賃貸収入に含めて長年にかけて回収することで採算がとれないかどうか検討している。他市の事例も調べたが、住宅地の真ん中という例がなく参考にできるものが少ない。小林浄水場については局内で一部再利用を考えており、井戸について緊急時の水源としての利用も検討する必要がある。</p> <p>エ 今後について 跡地利用をどうするかによって構造物の撤去方法および撤去費用が変わってくるため、まずは利活用方法を決める必要があり検討を進めていく。今後も地域へ情報提供しながら、協働を進めていくために、まちづくり協議会を含めた地域の会議等で定期的に報告していく形を検討していきたい。できるだけ早く方向性を定め進めていきたいが、一朝一夕にはいかないのが現状で、もう少し時間が必要である。</p>